

児童養護施設 亀山学園

平成 28 年度事業計画

1、重点課題

新しく完成したユニットの園舎に移り、少人数（6～8名）の縦割りで家庭的な養育を行なえるようになりました。直接処遇職員は調理を栄養士・調理員に教わりながら、簡単なものから徐々にレパートリーを広げていきます。また、児童からのお手伝いを積極的に受け入れ、生活のスキルを学ばせ将来の自立支援につなげます。

職員の1人勤務が多くなる分、職員間の連携は最重要になります。細やかな日誌の記入と引継ぎ・報告・連絡・相談を充実させて事故防止、職員孤立を防ぎます。職員は内外の研修会に積極的に参加して、専門性の向上に努め児童への支援の充実を図ります。

諸経費の無駄をしないように各ユニット統一の約束事を作成、実行します。

第三者評価の自己評価を職員と共に取り組んでまいります。

2、生活部門

- ① 基本的な生活習慣の確立と社会性、自立心の向上を目指し支援します。
- ② 幼稚園や各学校との連携を図り、個々の学習意欲と学力の向上を目指します。
- ③ ユニット内及び園内外の整理整頓・清掃を第一として適切な生活環境を提供できるよう努めます。
- ④ 1人の大人として、また児童養護施設の職員としてすべての児童に対し、やるべき支援・対応を責任もって行い、誰からも信頼される職員となることで、児童との愛着形成を目指します。
- ⑤ 主任会議・職員会議・ユニット会議・調理検討会・コンサルテーションを定期的実施して養育の方向性を確認し合いながら、支援に努めます。また、県内外の研修会に参加して施設職員としてのスキルアップを図ります。
- ⑥ 年4回人権擁護の自己評価を行い、児童の権利擁護に努めます。

3、心理部門

- ① 心理療法及び、発達・知能検査等を用いて児童へのアセスメントを行い、個別援助方針を計画・実践します。
- ② 児童の情緒的問題に対して個別の心理療法を実施し、心理的ケアを行います。
- ③ 児童・職員に対する心理的ケアに努めるため、生活場面における環境療育の充実を目指します。
- ④ 学校・児童相談所・医療機関等の外部関係機関と連携して、児童を取り巻く環境調整の充実を目指します。

- ⑤ 施設内外の研修会・スーパーバイズ・コンサルテーションの実施により、児童を統合的に理解する視点を深めながら、職員間の連携を図ります。
- ⑥ 家庭支援専門相談員等と連携を図りながら、家族に対する支援に努めます。

4、医療、看護部門

- ① 職員間での連携を図りながら、児童に対する日々の健康管理を充実させます。
- ② 嘱託医・関係医療機関との連携調整及び情報交換に努め、児童の健康を管理します。
- ③ 定期的健康管理や健診、予防接種等を充実させ、施設内感染対策に努めます。

5、家庭支援専門相談員部門

- ① 保護者の困りを理解できるように、保護者に寄り添った面接を重ねます。
- ② 退所児童への継続した生活相談等のアフターケアを行います。
- ③ 里親委託希望家庭への相談及び養育指導援助を行います。
- ④ 地域の子育て家庭に対する育児不安解消のための相談及び支援を受け付けます。

6、個別対応職員

- ① 生活場面を離れた個別対応を実施していきます。
- ② 入所児童が触法行為等の事件を起こした場合、その処理を行います。
- ③ 全児童と年間1回以上の個別面談を実施し、児童の意向調査を行います。

7、基幹的職員

- ① 各種ケース会においてスーパーバイズを行います。
- ② 年間の職員研修計画を立案・実行します。
- ③ 関係機関との連携において中心的な役割を果たします。
- ④ 第三者評価の自己評価を行っていきます。

8、食事部門

- ① 食事が楽しめるよう、献立に工夫をします。
- ② 調理して食べることの楽しさや重要性を学べるよう、食育を行います。
- ③ 誕生日を個別に祝えるよう、誕生日に希望のメニューを提供します。
- ④ 学園の園庭を利用して野菜作りをします。野菜作りを通じて土や自然に親しみ食べ物大切さを学びます。

9、地域交流事業部門

- ① 地域貢献の一つとして、貧困家庭の児童を対象にクッキング教室を開きます。
- ② ボランティアサークルを作り、児童と共に地域貢献を行っていきます。

- ③ 夏祭りや地域の行事を通じて、施設の理解を促します。

10、整備部門

- ① 新園舎を児童の使い易い環境に整備して行きます。
- ② 園庭の遊具の定期点検を行って行きます。
- ③ 倉庫の整理を行い、備品管理を行います。

11、危機管理部門

- ① 防火管理者による月1回の避難訓練を実施し児童の安全管理に努めます。
- ② 危機管理対応マニュアルの見直し、講習を定期的に行うことで、防火対策・防災対策・不審者対策への危機管理を強化します
- ③ 外部からの侵入については警備会社に業務委託をして安全を図ります。

12、事務・会計部門

- ① 経営意識と経費の効率執行として全職員の無駄を省く意識と実行・書類の簡素化(パソコンを用いたペーパーレス)を行います。
- ② 施設整備は完了致しましたが、今後も備品等の整備が必要となりますので、他の部分に影響のないよう資金計画を立て、慎重に進めていきます。
- ③ 会計士・社会保険労務士等専門家の指導の下に更なる充実に努めます。

13、子育て短期支援事業部門

- ① ショートステイ、トワイライトを受け入れます。
- ② 子育て支援を通じて地域に貢献します。
- ③ 保護者からの相談対応、家庭支援を行います。

14、地域小規模児童養護施設 和みの家

- ① 家庭的な雰囲気維持するために、直接処遇職員が調理を行います。
- ② 休日はメニューの立案や食材の買出し等を、児童と共に行い、食育を行います。
- ③ 少人数という利点を活かし、個別に関われる時間を増やし関わりを深めます。